



ご挨拶

本日は“*A-Winds*68” 2024年秋の演奏会にお越し下さり誠に有難うございます。
「こころ豊かな文化の香り高き町 大和郡山市」お城の麓“DMG MORI やまと郡山城ホール”で皆様方とお逢いできましたことに、団員一同心より御礼申し上げます。

四季折々に開催する、*A-Winds*の定期演奏会も68回目を数え、並びに1999年10月に発足以来、創立25周年を迎えることができました。これもひとえに我々*A-Winds*の音楽活動をこよなく愛して下さった皆様方の御指導御支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

本日は、*A-Winds*ミュージック・アドバイザー潮見裕章氏と共に、音楽活動をご指導いただいている、日本ウィンドアンサンブル首席バスクラリネットの若き偉才小谷俊介氏を客演指揮者にお招きしました。ここからまた未来が始まる25年目今最高の*A-Winds*の演奏をお楽しみいただければ幸いです。

未来もきっと 晴れ渡る 空のように

*A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ 団長 魚谷 昌克

＊

本日は“*A-Winds*68” 2024年秋の演奏会にご来場いただき誠にありがとうございます。

今回は「How Wonderful “Music” is!」と題して、皆様にお楽しみいただけるよう吹奏楽の新旧名曲や一度は耳にされたことのある映画音楽を取り上げました。

コロナや戦争、自然災害などここ数年、普通のこと普通ではなくなっています。しかし本日こうして皆様の前で演奏できる我々はとても幸せです。音楽でできることは限られているかもしれませんが、本日は感謝の気持ちや平和への祈り、復興への応援の気持ちも込めて演奏いたします。その想いが少しでも多くの皆様に届くことを信じて。

ようやく過ごしやすくなってきた秋の一日、音楽のすばらしさを感じながらお楽しみいただければ幸いです。

“*A-Winds*68” 2024年 秋の演奏会 実行委員長 トロンボーンパート一同

募金のお礼とご報告

*A-Winds*では演奏会開催ごとに義援金を募っており、演奏会終了後に「日本赤十字社」及び「奈良県新型コロナウイルス感染症対策基金」等に全額納めております。

*A-Winds*67では35,722円を「日本赤十字社／令和6年能登半島地震災害義援金」の受付口座に納めました。

また、募金を開始した*A-Winds*38から*A-Winds*67まで、総額283,606円の募金をお預かりし、各受付口座に納めております。

募金にご協力いただいた多くの方々に、団員一同厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



*A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ

Piccolo

佐藤 由加里

Flute

佐藤 司(印刷)

魚谷 陽子

大塚 由起

南 結香

谷田 和奏

Oboe

桶谷 牧子

白井 秀

Bassoon

桶谷 美咲

鈴木 沙織

上田 良子

E♭ Clarinet

大谷 実

B♭ Clarinet

竹村 明恵

中嶋 有沙

吉本 樹

吉崎 淳子(涉外)

中山 詩織

中山 由香

西崎 潤人

昇 若菜

Alto Clarinet

大西 晴己

Bass Clarinet

森口 悠斗

Alto Saxophone

島田 博一

小山 飛鳥

三宅 利幸♪

Tenor Saxophone

初岡 和樹

Baritone Saxophone

森口 凜音

Horn

久野 耕三

大田 雅美

坂元 栞

西島 華奈子♪

中西 花菜

池本 琴音

Trumpet

魚谷 昌克

谷田 弥生

山本 洋介

大西 伸幸

井上 寛治

乙川 佳世

谷田 雪月

Trombone ♯

小泉 文浩(プログラムノート)

田中 由美(チラスシ)

赤羽 孝文(チラスデザイン)

寺阪 清貴(チラスシナル)

松本 麗(マスコミ)

田中 智寛(ミニレター)

Euphonium

尾登 勇介

原田 桃花

藤山 みらい

狭間 未玖乃

Tuba

吉村 優花

堤 正治郎

松下 幸平

Contra bass

佐藤 良一

Percussion

谷口 麻子

木津 尚子

松本 小夜子

川人 舞

田口 幹朗

伊藤 明瑠♪

Piano

八木 真木

Stage Manager

河村 穂香♪

Announcer

境 貴子♪

団員合計 59名

♪ = エキストラ

♪ = 休団

♪ = 実行委員長

() = 係員

A-Winds メンバー募集

●募集パート

B♭ Clarinet ————— 2名

Horn ————— 2名

Tuba ————— 1名

Contra Bass ————— 2名

Percussion ————— 3名

Stage Manager ————— 1名

●*A-Winds*の活動趣旨(ウィンドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方

●ご自分で楽器を準備できる方 ●全ての活動に賛同頂ける方

●18歳以上の方 ●詳細はお問い合わせ下さい。

問い合わせ先は<e-mail>a.winds.nara.contact@gmail.com



A-Winds 68

NARA AMATEUR WIND ORCHESTRA

2024年 秋の演奏会

How Wonderful “Music” is!

2024年11月10日(日) 14:00開演 (13:30開場)

DMG MORI やまと郡山城ホール 大ホール

主催 ● *A-Winds*奈良アマチュアウィンドオーケストラ

後援 ● 奈良県・大和郡山市・大和郡山市教育委員会・一般社団法人 奈良県吹奏楽連盟



プログラム & プログラムノート

第1部 ― 指揮：小谷 俊介

セント・アンソニー・ヴァリエーション

St. Anthony Variations

○作曲：ウィリアム・H・ヒル／William H. Hill

○出版：ミュージック・エイト

○演奏時間：約8分

17世紀のオーストリアの聖歌に「セント・アンソニー・コラル」という歌があります。18世紀にハイドン（1732-1809）はこのテーマを使って管弦8重奏の室内楽曲を作曲しました。今度は19世紀にブラームス（1833-1897）が、この曲をもとに管弦楽曲を作曲しました。そして20世紀、カリフォルニア州立大学ウィンド・アンサンブルの指揮者であるウィリアム・ヒルによって、このテーマは華麗な吹奏楽曲となりました。このコラルは、実に4世紀にわたって進化と発展を遂げてきたこととなります。

1985年の吹奏楽コンクールにおいて天理高校がこの曲を取り上げ、同校の活動に協力していた中屋幸男氏による縮小改訂版が演奏されました。この縮小改訂版は柳田氏の版で加えられた再現部も新しく作り直されており、この演奏が全国大会で金賞を受賞して一躍話題となります。その後ミュージック・エイト社から正式に出版されることとなり、これが現在最も演奏されている版となっています。これら一連の作業はすべて作曲者であるヒル氏の許諾のもとに行われ、自作の他者による縮小改訂版を作曲者自身が認めた稀有な例と言えます。

吹奏楽のための民話

Folklore for Band

○作曲：J. A. コーディル／Jim Andy Caudill

○出版：Hal Leonard Music

○演奏時間：約5分

アメリカの作曲家ジム・アンディ・コーディルの作品。

彼は少年時代からホルネットを、高校から作曲を学び、公立高校の教師を経て、ケンタッキー州のパイクビル大学の助教授もつとめました。

この曲は、スクールバンドのために書いた比較的難易度の低い作品ではありますが、タイトルのように民謡風の表情豊かな数々のメロディが散りばめられており演奏効果も高いため、1964年に初めて日本に紹介されて以来、吹奏楽曲の代名詞のように親しまれています。

冒頭はトロンボーン、ユーフォニアム、低音の木管群によってfで奏されます。テーマのクラリネットのメロディーが日本人の魂を揺さぶります。金管楽器のハーモニクスな響きを中心とした旋律や、スコットランドのバグパイブを思わせるような木管楽器の軽快な動き、また途中には日本のわらべ歌を思わせるような旋律もあり、素朴で非常に親しみやすい曲に作られています。

民謡を思い浮かべさせるこの曲は一躍大ヒットとなり、60年経った今でも日本だけでなく世界中のあちらこちらで演奏される名曲中の名曲なのです。

シンフォニエッタ第5番「火焰の鳥」

Sinfonietta No.5 “Pele, the Fire Bird”

○作曲：福島弘和／Hirokazu Fukushima

○出版：ブレーン

○演奏時間：約11分

この曲は東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部の委嘱により2022年に福島弘和氏によって作曲された作品です。

* * *

作品完成後にパソコンのプレイバックを聴いた時、戦争のため瓦礫と化した街に一羽の鳥が飛んでいる風景がイメージされました。これに因み、生と死を司る鳥としてサブタイトルに「火焰の鳥」と命題しました。

曲は、冒頭のホルンの旋律を主要主題として、様々な形で展開されます。音程関係が変化したり、リズムが細かくなったり広がったりしながら、旋律、ベースラインとして主旋律だけではなく色々な声部に表れます。また同じ主題でも表現が変化します。（出版社ホームページ 福島氏コメントより抜粋）

* * *

世界各地で繰り広げられている争い。世界各地で多発している自然災害。普通のことが普通でなくなっている今、世界平和や災害からの復興への祈りを込めて本日は演奏したいと思います。

第2部

ディズニー・メドレー ― 指揮：小山 飛鳥

Disney Medley

○編曲：岩井直博／Iwai Naohiro

○出版：EMI Music Japan Inc.

○演奏時間：約10分

皆さんご存じのディズニー。「ミッキーマウスマーチ」「小さな世界」「ハイホー」「狼なんかこわくない」「いつか王子様が」「口笛吹いて働こう」「星に願いを」の7曲のメドレーです。ディズニーファンの方なら映像を思い浮かべてくださるでしょうか？

*A-Winds*と一緒に素敵なディズニーの世界へ！

ニュー・シネマ・パラダイス ― 指揮：堤 正治郎

Nuovo Cinema Paradiso

○作曲：エンニオ・モリコーネ／Ennio Morricone

アンドレア・モリコーネ／Andrea Morricone

○編曲：大島ミチル／Michiru Oshima

○出版：EMI General Music

○演奏時間：約7分

《ローマに住む映画監督サルヴァトーレはある日、故郷のシチリア島の村から映写技師のアルフレードが死んだという知らせを受け取る。「トト」と呼ばれていたサルヴァトーレ少年は、シチリア島の僻地の村で暮らしていた。その村では小さな映画館が唯一の娯楽施設であり、村の外に通じるたった一つの窓口だった。映画に魅了された少年トトと映写技師アルフレードとの友情や、少女との恋愛。30年間故郷に帰っていない彼は、昔の回想を始める…。》

この作品は、中年男性が映画に取りつかれた少年時代と、青年時代の恋愛を

回想する物語です。1989年にイタリア国内で公開されたものの興行成績が振るいませんでしたが、のちに国外において好評を博し、数々の国際的な映画賞を受賞しました。

感傷と郷愁、映画への愛情が描かれた作品の内容と相まって、モリコーネによる音楽もよく知られており、日本では様々な企業のCMに使用されています。

「千と千尋の神隠し」ハイライト ― 指揮：小谷 俊介

Highlights from “Spirited Away”

○作曲：久石 譲／Hisaishi Joe

○編曲：遠藤幸夫／Endo Yukio

○出版：CAFUA MUSIC LIBRARY

○演奏時間：約10分

「千と千尋の神隠し」は、2001年7月に公開し、大ヒットした宮崎駿監督・スタジオジブリのアニメーション映画です。作曲家の久石譲は「風の谷のナウシカ」以降、宮崎駿監督のアニメーション映画に楽曲を供給し続けてきましたが、「千と千尋の神隠し」もそのひとつです。この曲は映画の中で使われた音楽の中から、ハイライトシーンとして「あの夏へ」「底なし穴」「竜の少年」「仕事はつらいぜ」「ふたたび」「帰る日」の6曲をアレンジし、メドレーにしています。

引越先へ向かう途中、トンネルのむこうにある不思議な町に迷い込み、八百万の神々が集う湯屋「油屋（あぶらや）」で働きながら様々な出来事に遭遇しつつも、仲間の力を借りて懸命に立ち向かうことで、たくましくなっていく主人公・千尋の冒険が描かれています。

小谷 俊介



プロフィール

相愛大学音楽学部卒業。バスクラリネット専攻。これまでにクラリネット・バスクラリネットを福井聡、クラリネットを金井信之の各氏に師事。日本ウインドアンサンブル《桃太郎バンド》首席バスクラリネット奏者として活動する他、関西を中心に室内楽、吹奏楽、オーケストラなどでの演奏会や収録に参加。

“*A-Winds* 69” 2025年 春の演奏会のご案内

2025年3月9日(日) 14:00開演
DMG MORI やまと郡山城ホール 大ホール

“*A-Winds* 69” 2025年 春の演奏会のテーマは“水”です。

地球の表面多くを覆う“水”。その様子は宇宙からは青く輝いて見えることから、地球は別名【水の惑星】とも呼ばれます。今回はその地球の“水”をテーマに描かれた曲を集めました。

海を泳ぐ鯨、日本の海、奈良を流れる川沿いの地域、多様な表情を持つ海…。様々な“水”にまつわる曲をお届けします。

春のひとつき、“水”の情景に漂っていただきたく、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

“*A-Winds* 69” 2025年 春の演奏会 実行委員長 佐藤 司